

四万十類層群と牟婁層群の境界部におけるトンネル建設のための高精度物理探査結果について

High resolution geophysical survey results at the proposed construction site of a tunnel

戸室 勝敏 [1]; 鈴木 慶一 [1]; 小林 敏政 [1]; # 板越 優克 [2]; 山崎 安正 [3]

katutoshi tomuro[1]; keiichi suzuki[1]; Toshimasa Kobayashi[1]; # Masakatsu Itagoshi[2]; Yasumasa Yamasaki[3]

[1] なし; [2] 地球システム科学; [3] 地球システム科学

[1] none; [2] Earth System Science; [3] Earth System Science (ESS)

<http://www.ess-jpn.co.jp>

和歌山県 A 地区のトンネル建設予定地点の地質状況を把握するため、弾性波探査（高精度探査）と高密度電気探査の組合せによる調査を行った。トンネル建設においては、特に孔口付近の地質状況の把握が重要である。探査結果、最も重要となるトンネル孔口付近の地質状況について、次のような地質状況を精度良く検出することができた。

1. 四万十類層群と第三紀牟婁層群の境界
2. 四万十類層群と第三紀牟婁層群の地質構造
3. 断層破碎帯の状況
4. 牟婁層群内に存在する礫岩層の分布状況